

GO

GLOBAL



Hosei 2019

課題解決先進国日本から サステイナブル社会を構想する グローバル大学をめざして！

2019年度は、本学が文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」事業に採択されて、6年目を迎えます。2023年度が最終年度にあたりますので、同事業のちょうど半分が経過したことになります。事業構想どおりに実行するには解決すべき課題はありますが、本学の「グローバル化」は着実に進捗しています。引き続き“法政大学ならではの”の取り組みを一歩一歩進めていきます。



TOP GLOBAL
UNIVERSITY
JAPAN

スーパーグローバル大学創成支援

我が国の高等教育の国際競争力の向上及びグローバル人材の育成を図るため、世界トップレベルの大学との交流・連携を実現、加速するためのシステムの改革や、学生のグローバル対応力育成のための体制強化など、国際化を徹底して進める大学を重点支援する文部科学省の事業。全国の国公私立大学から、本学を含め37校が採択されています。

Practical Wisdom for Freedom

Hosei University was founded by a group of ambitious young men at the beginning of the modern era in Japan for ordinary citizens who had become aware of human rights and sought a knowledge of the law.

As the school song says, Hosei University is a place where “good teachers and good friends gather.” The university has always fostered a “free academic atmosphere” in which the rights of others are respected and diversity is accepted and a “pioneering spirit” which is not bound by convention and aims at building a fair society.

Carrying on the legacy of the university’s founders, our mission is to pass on this free academic atmosphere and pioneering spirit to the next generation and contribute to solving the problems of the world.

In order to fulfill this mission, the university strives to support farsighted research from a variety of points of view and educate students to become independent citizens who carry out their work for the society and the people based on well-grounded principles and unrestricted thinking.

Hosei University promotes sound critical thinking based on sympathy for all people, both locally and internationally, and the creation of ideas for solving social problems based on practical wisdom. In cooperation with its many graduates, who have the ability to live anywhere in the world, Hosei University will contribute to the future of sustainable societies.

「法政大学憲章」(英語版)

法政大学は、2030年に創立150周年を迎えます。私は総長に立候補するにあたって、創立150年という大きな節目をめざす長期ビジョン“HOSEI 2030”を構想し、賛同を得ました。2014年の就任後、早速タスクフォースを設置し、検討を重ね、2030年の本学の姿を展望したHOSEI 2030のビジョンを策定しました。またその過程で、「ダイバーシティ宣言」を行い、「法政大学憲章」を制定しました。「法政大学憲章」は、本学の約束として「自由を生き抜く実践知」を冒頭に掲げています。「自由を生き抜く実践知」とは、それぞれが生きる現実の中で、自由を生き抜くことを理想とし、その実現のために課題解決を続ける知性のことです。HOSEI 2030の根幹であり本学のスーパーグローバル大学構想にも繋がる重要な理念です。今後もこれらの憲章、ミッション、ビジョン、そして宣言に基づき、スーパーグローバル大学構想を含むHOSEI 2030を実行していきます。法政大学の新しい展開に注目し続けてください。



INDEX

| | |
|------------------------|-------|
| 巻頭 | 01～02 |
| 法政大学のグローバル化へのビジョン | 03～04 |
| グローバル人材育成のイメージ | 05～06 |
| 語学教育プログラム | 07～08 |
| 外国人留学生の受入れ | 09～10 |
| 国際交流プログラム | 11～12 |
| 派遣・認定海外留学制度 | 13～14 |
| 特徴的な海外留学・インターンシッププログラム | 15～16 |
| 海外交流協定大学 | 17～18 |
| グローバル化に対応した仕組みづくり | 19～20 |
| グローバル化の歩み | 21～22 |

法政大学のグローバル化へのビジョン

持続可能で平和な地球社会の構築に貢献する大学へ。法政大学は、社会のさまざまな課題を解決する研究と教育を柱とし、自由な思考と自立した行動力を備えた地球市民の育成をめざして、グローバル化を推進しています。



数値目標 2023年の法政大学

グローバル化対応・体制の構築

- 総長のリーダーシップ
- 長期ビジョン「HOSEI 2030」の策定
- ICT基盤とIR機能の強化充実

受入れ留学生



3,000人

海外留学（単位取得）



1,500人

海外協定校



250校

連携高校（国内・海外）



110校

グローバルアクティビティ
体験率



100%

課題解決先進国日本から サステイナブル社会を構想するグローバル大学へ

世界各国のポスト工業国化
地球規模の環境問題
少子高齢化
世代間の格差・雇用問題 etc.

産業構造の転換
エネルギー・公害問題への挑戦
健康・医療、予防福祉の発展
社会システムの革新による雇用創出

世界は持続可能な社会モデルを模索しており、先行モデルとしてのわが国の
課題解決研究は世界から注目されています。法政大学は「サステイナブル社会」研究に
資源を集中させ、TOP GLOBAL UNIVERSITYをめざします。

日本の知見を世界へ 人間力豊かなグローバルリーダーを育成

法政大学の取り組み

1 「世界のどこでも生き抜く力」を
備えたフロントランナーを育成
する教育プログラム

2 「サステイナブル社会」を構築
する人材の集積とグローバル化
社会への発信力の強化

3 サステイナブルな
グローバル社会の基礎づくり
に向けた中等教育支援

4 サステイナブルな
グローバル社会の構築を担う
社会人の学びなおし

5 グローバル社会の変化に
迅速に対応し意思決定ができる
体制の構築

大学理念

「自由と進歩」の精神で
なにごとにも絶えず挑戦し、
新しい伝統を創造し続ける

自立的で人間力豊かな
リーダー育成、最先端を行く
高度な研究を推進する

教育・研究の成果を社会に還元、
持続可能な地球社会の
構築に貢献する

英語による学位取得



7 コース

外国人等教員
外国での教員研究歴のある
日本人を含む



60 %

外国語による授業



10 %

CEFR B1取得
TOEFL ITP® 500点相当



48.1 %

社会人の
学びなおしプログラム



1,200 人

グローバル人材育成のイメージ

本学がこれまで培ってきた「自由と進歩」の精神に基づき、既成概念にとらわれない自由な発想で考え、新しい問題に積極的にチャレンジする自立型人材、持続可能な地球社会の構築に貢献できる国際的な人材の育成をめざします。実践的な語学教育、学内外での国際交流、海外留学など、多彩なプログラムを用意しています。

1 年次

語学力と異文化理解力を養成

- ERP (英語強化プログラム) P7へ
- Gラウンジ P8へ
- 国際ボランティア P16へ
- 短期語学研修 P15へ

2 年次

語学力を活かして専門知識を習得

- ESOP (交換留学生受入れプログラム) 科目 P10へ
- 学部教育課程における海外留学 P16へ
- グローバル・オープン科目 P8へ

留学生と交流する

34の国・地域から集まる留学生と学内で交流し、国際理解を深めて行きます。

ERP (英語強化プログラム) などを受講 P7へ

市ヶ谷、多摩、小金井の全てのキャンパスで、ネイティブスピーカー講師による「ERP (英語強化プログラム)」や学内英会話講座を実施しています。授業の空き時間を利用して、英語のスキルアップを図ることができます。



グローバル・オープン科目などを履修 P8へ

グローバル・オープン科目、GIS (グローバル教養学部)・国際文化学部、ESOP (交換留学生受入れプログラム) の科目に参加することで、学内にいながらにして、英語のみの環境の中で多岐にわたる分野を学ぶことができます。



Gラウンジを活用 P8へ

外国語コミュニケーションスペース「Gラウンジ (Global Lounge)」を活用すれば、日常的にネイティブスピーカーとの会話を楽しむことができます。英語学習アドバイザーや留学生とのコミュニケーション経験により、英会話のスキルとグローバルな視野が身に付きます。



留学生と交流する P11へ

法政大学には多くの外国人留学生在籍しています。GラウンジやJラウンジで積極的に外国人留學生と交流することで、大学にいながらにしてグローバルな視点を養うことができます。



3 年次

学んだ知識を
海外で実践

- 派遣留学・認定海外留学 P13へ

4 年次

グローバル社会で
生きる力へ!

- 国際インターンシップ P16へ
- 国際キャリア支援セミナー

国際機関への
就職・活躍

海外大学院

- Gラウンジ P8へ
- Jラウンジ、HUBs P11へ
- スピーチコンテスト P12へ
- 法政グローバルデイ P11へ

派遣留学などに参加 P13へ

留学などの海外プログラムには、1年間または半期の派遣留学・認定海外留学、学部独自の留学プログラム・海外研修プログラム、全学部対象の短期語学研修があります。グローバル人材育成のためのプログラムを経験した多くの学生が、自身の目的やレベルに合った留学制度を利用しています。



国際ボランティア・インターンシップに参加 P16へ

国際ボランティア・インターンシップに参加することで、身に付けた英語力を活かして、留学とは異なるグローバルな交流・ビジネス体験を積むことができます。世界各地から集う同世代の友人との出会いも魅力です。



国際キャリア支援セミナーに参加

将来、国際的な企業や機関で活躍したいと考えている学生を対象に在籍年次に応じた適切なセミナーを実施し、各種参加プログラムにおける学びを国際的なキャリアプランに結びつけて考える機会を提供します。



語学教育プログラム

法政大学では、さまざまなレベルに応じて、日常的に語学力の向上に取り組める機会を提供しています。気軽にネイティブスピーカーから英語を学べるラウンジ、語学スキルを養成するプログラム、英語で専門分野を学ぶ科目などがあり、1年次から4年次にかけて徐々にステップアップしていくことができます。



ERP (英語強化プログラム)

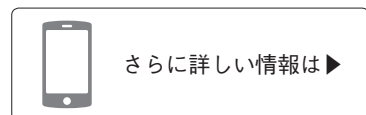
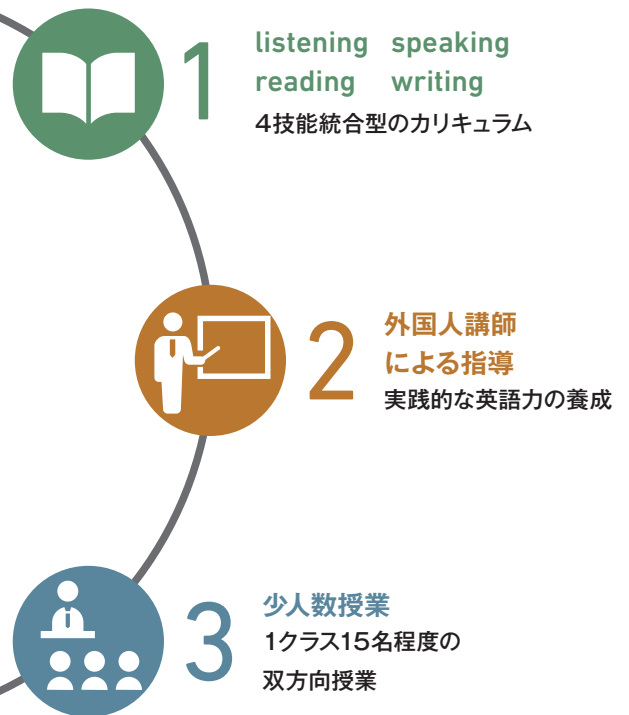
English Reinforcement Program

ネイティブスピーカーを中心とした講師による英語スキルの養成、およびその技能統合を目的としたプログラムです。一定レベルの英語力があり、英語学習の意欲が高い全ての学部・研究科の学生を対象に開講しています。

■ERP科目名

| レベル | 開講科目 |
|-----|--|
| CE1 | Oral Presentation & Discussion: Intermediate I,II |
| | Writing & Discussion: Intermediate I,II |
| CE2 | Oral Presentation & Discussion: Higher-Intermediate I,II |
| | Writing & Discussion: Higher-Intermediate I,II |
| CE3 | Oral Presentation & Discussion: Advanced I,II |
| | Writing & Discussion: Advanced I,II |

* 英語スコアによってレベル分けを行っています。



<http://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/erp/>

グローバル・オープン科目

全ての科目の教授言語を英語とし、全学で開講している学部横断型の公開科目です。グローバル・オープン科目を受講することで、所属学部の専門領域を超えた知識やグローバルな視点を身に付けることができます。

ERPなどによりTOEFL iBT® 80以上の英語力を身に付けた学生は、全ての授業が英語で行われるGIS (グローバル教養学部) の公開科目を履修できます。



TOEIC® IPの全学実施

自分の英語レベルを把握し、英語学習に役立てる機会として、TOEIC® IPを年1回3キャンパスで一斉に実施しています。実力の把握が、英語学習へのモチベーションや英語レベルの向上につながります。

TOEFL®・TOEIC®講座

春学期・秋学期中に各キャンパスで受講できる有料の英語試験対策講座です。英語圏留学を目指す学生対象のTOEFL® iBT講座と、2レベルで展開するTOEIC® L&R講座があります。いずれも2ヶ月間全8回(週1回クラス)の集中授業で学びます。

ESOP科目

本学協定校より派遣される世界各国の交換留学生と共に日本の文化や社会、政治、経済などのテーマを英語のゼミ形式で学びます。

▶詳しくは10ページ

Gラウンジ Global Lounge

キャンパス内にいながらにして、外国人留学生や英語学習アドバイザーなど、ネイティブスピーカーと日常的なコミュニケーションの機会を持つことができ、実践的な語学力を身に付けられます。3キャンパスにあり、開室中はいつでも利用できます。

また、市ヶ谷キャンパスGラウンジに隣接するコーナーでは、曜日により、ドイツ語、フランス語、ロシア語で交流できる「多言語カフェ」が開かれています。それぞれの言葉を母国語とする留学生と学習している学生、留学から帰国した学生たちが集い、諸外国語でのコミュニケーションを楽しむことができます。



Every Day 英会話 ~ Four Seasons English ~

毎日継続して英会話のレッスンを受けられる有料講座です。外国人講師が担当し、正課授業の空き時間に、楽しく受講できます。少人数グループのレッスンで、英語に慣れていない人でも安心してチャレンジできます。

英字新聞制作企画

英文ジャーナリズムの基礎を学びながら、法政大学の英字新聞を学生の視点で作成し、グローバルな視点や批判的思考を身に付けます。参加者の署名入りで発行された新聞は、THE HOSEI HERALDとして広く配布されます。



GIS (グローバル教養学部) 語学検定試験受験料補助

GIS(グローバル教養学部)では英語の検定試験受験料を補助し、語学力の向上を支援しています。

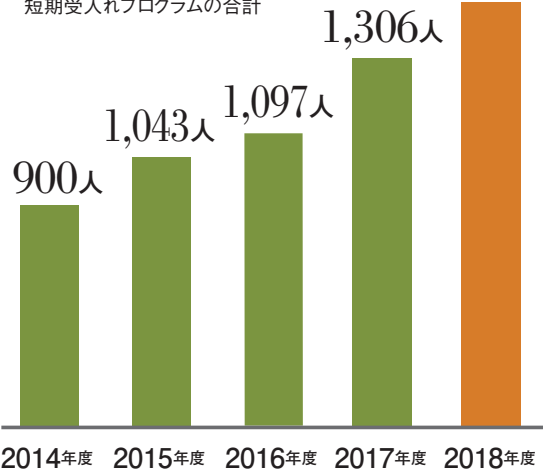
外国人留学生の受入れ

外国人留学生3,000人の受入れ実現を目標とし、
キャンパスのさらなるグローバル化をめざします。



● 外国人留学生受入れ実績

※学部生、大学院生、ESOP交換留学生、
短期受入れプログラムの合計



1,403人



出身国・地域 2018年度



外国人留学生 (正規留学生受入れ)

大学・大学院合わせて793人の留学生が学位取得をめざして、日本人学生とともに勉学に励んでおり、グローバル教育センターを中心にさまざまな部局で留学生を支えています。

留学生を対象とする授業料減免制度や各種奨学金、留学生も入居できる学生寮を用意し、受入れ体制を整えています。また、日本での就職を考える留学生を対象に就職活動に役立つ日本語講座や企業説明会を積極的に実施し、就職支援を行っています。今後も多様な入試制度の導入、英語による学位コースの新設等により、さらなる留学生の受入れをめざしています。



ESOP (交換留学生受入れプログラム)

海外の協定校から、半年から1年間の交換留学生を受け入れるため1997年より開設。日本の文化や社会、政治、経済等のテーマを中心とした科目を英語のゼミ形式で学びます。また、交換留学生だけでなく本学生も受講可能で、多くの学部が単位を認定。国内にいなから留学生と共に学び、交流することで、グローバルな視点を身に付けることができます。2017年度は184名、2018年度は178名の留学生が本プログラムに参加しました。さらに、本学生も多く受講し、交換留学生の積極的な授業態度に刺激を受けながら交流を深めることができました。本プログラムは留学前の準備として日本社会や文化を理解することもでき、また、留学で得た経験や知識のブラッシュアップにもつながっています。



日本語教育プログラム (JLP)

留学生を対象に、大学での学習や将来の仕事に必要な日本語の習得を支援します。さらに、総合大学ならではの幅広い学生との交流の機会を提供し、広い視野を持ち、グローバル社会に貢献できる人材を育てることを目的としています。学生の日本語力に合わせたレベル別授業を展開し、特に上級クラスの学生には、進学・キャリアに役立つ「ブリッジングコース」を充実させています。



短期日本語・文化プログラム

海外協定大学の学生を対象に、夏と冬に約2週間の日本語と日本文化を学ぶプログラムを実施しています。日本語だけではなく、日本文化・社会などを学ぶため、浴衣を着ての日本橋散策、国内外で店舗を展開する飲食店グループでの調理体験、富士山麓へのフィールドトリップ等を行います。このプログラムには、約100名の法政大学の学生がボランティアとして参加し、留学生とパティを組み、授業や課外活動のサポートや、空港への出迎えや生活面のサポートなどを行います。授業やさまざまなイベントを通じて交流を図るだけでなく、お互いの文化を比較する中で自国の文化を見つめなおし、異文化を理解する力を養います。



Voice

2012年に旅行で初めて来日してから、日本文化が好きになり、もっと知りたいと思うようになりました。また将来コンサルタントとし母国の発展に貢献したいと考えていたので、経済大国日本に留学したら非常に役に立つのではないかと考えて思い切って日本へ留学しました。しかし、日本留学生活は簡単ではなかったです。特に言語と文化の違いが大きかったです。だが、法政大学で勉強することによって、多くの新しい知識を学ぶことができ、バックグラウンドが異なる多国籍友人達と出会いができて異文化の中で自分を知ることが出来ました。又、教授が非常に熱心な指導をして下さり、グローバルスタッフによる留学生サポートもしっかりしているところは大きな魅力でした。更に、大学から奨学生として推薦頂き、SGH財団の奨学金生として採用されました。おかげで金銭面の心配をすることなく生活ができました。卒業後は、証券取引のないマニラで「ヤンゴン証券取引所」を出資した日本企業でコンサルタントとして入社し、大学で学んだ知識を活かして母国の資本市場の発展に向けて貢献したいと思います。



ル ルさん

外国人留学生 (ミャンマー出身)
経済学部 現代ビジネス学科 4年生

国際交流プログラム

さまざまな国際交流の機会を提供し、
国際理解を深めています。



法政グローバルデイ

学生が主体となり、企画から運営までを行っているイベントです。国際的な舞台上で活躍する実務者を招いてのさまざまな取り組みの紹介や、意見交換、問題提起などを通じて、国際協力、国際交流、グローバルビジネスへの興味喚起を目的として毎年開催しています。



2018年度実施内容

テーマ：新しい出会い、新しい世界

- ・社会人パネリスト3名によるパネルディスカッション
- ・留学生との交流、国際協力、グローバルビジネス等の学生企画
- ・グローバル教育センターが主催するプログラムの紹介
- ・学外団体による説明会や個別相談コーナー
- ・交流会（参加者、ゲスト、実行委員との交流）

Jラウンジ

Jラウンジは、日本語を学ぶ留学生が授業外で日本人学生と交流し、生きた日本語を学び・使う交流スペースです。運営は日本人学生スタッフがボランティアで行い、お昼休みや授業の空き時間を利用して開室しています。

「日本語」でのおしゃべりやイベントを通して、お互いの国や文化について触れることができます。



HUBs (Hosei University Buddy system)

来日して間もない交換留学生のために、空港・寮の出迎え、大学施設案内、口座開設などさまざまな活動を通じて留学をサポートするボランティアです。また、来日直後だけではなく継続して各種支援を行うことで、留学生が充実した生活を送れるようにサポートします。HUBsに参加した学生は、交換留学生向けのパーティーや体験イベントにも参加することができ、交換留学生との交流をより深めることができます。この活動に参加することで語学学習の機会を得るだけでなく、留学生の視点で日本を見つめ直すことができ、よりグローバルな視野を身につけることで、お互いの言語や文化の違いについての理解を深めることができます。



スピーチコンテスト

日本語スピーチコンテスト

(国際交流サークル Hi-C Orange主催)

国際交流サークルHi-C Orangeの主催によるスピーチコンテストでは、本学在籍の留学生が、日本人学生のサポートを受けながら、自由なテーマでスピーチをします。今回は、韓国・中国・台湾・ウズベキスタンの留学生が出場しました。



法政大学日本語スピーチコンテスト

(主催：法政大学 共催：ハノイ国家大学外国語大学)

ハノイ（ベトナム）において日本語スピーチコンテストを開催し、ベトナム全国の8高校・14大学からの応募者142名の中から、事前審査を通過した18名が、「世界のどこでも生き抜く力」をテーマにスピーチを行いました。



多摩国際交流フェア

多摩キャンパスで学ぶ留学生と日本人学生を中心に、外国人研究者や国際交流活動に携わる教職員も参加し、出身国・地域を問わず交流を深めるイベントです。各国の留学生による歌やダンス、母国の文化についての発表などさまざまな企画を実施しています。

2018年度実施内容

留学経験者による留学先紹介、留学中の学生とSkypeでの質疑応答、各留学生会による発表、パフォーマンス等



採択事業

さくらサイエンスプラン

(日本・アジア青少年交流事業)

産学官の連携により、アジアと日本の青少年が科学技術の分野で交流を深めることを目的としています。本学では、2015年度より毎年1、2件ずつ採択されており、ベトナムや台湾、ミャンマー、中国から学生や教員を招き、理工系、建築系分野におけるワークショップやプレゼンテーションを行っています。

HOSEI-SSP

(HOSEI Short-term Scholarship Program for High School Students)

日本へ留学を強く希望しているアジアの高校生を本学へ招き、特別授業の受講や本学の学生との密接な交流を通じて本学の魅力を伝えます。2017年度は、ベトナム、インドネシア、カンボジアの3カ国から15名の高校生を招き、英語学位プログラムの特別授業や本学学生企画の文化体験活動を通じ、日本について学びました。

スーパーグローバル大学 創成支援事業シンポジウム

2017年12月に、ロンドン大学パークベック・カレッジから教員を招き、イギリスにおける大学界の経験をもとに、大学の持続可能な成長について講演とパネルディスカッションを行いました。2019年3月には国連、産業界、海外大学から講師を招き、持続可能な社会の実現に向けた取り組みや、SDGsの観点から大学教育に期待されることについて議論を深めました。

派遣・認定海外留学制度

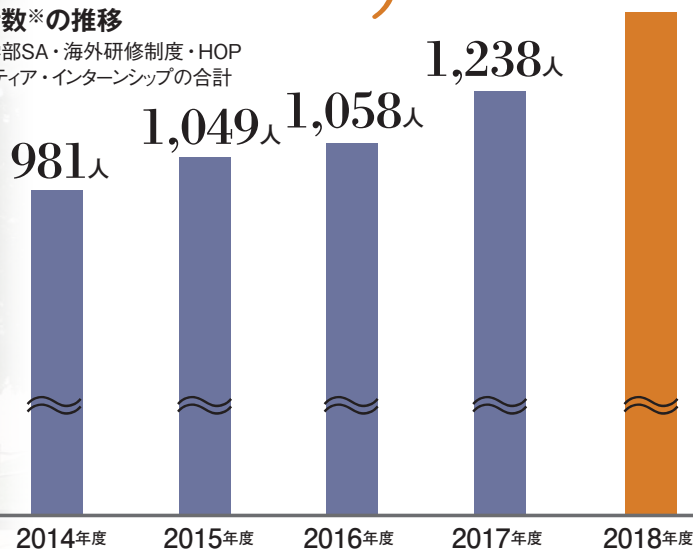
学生が海外に出て、語学力の向上だけでなく、異文化への理解を通じて広い視野を持てるよう、さまざまな海外プログラムを実施しています。毎年、多くの学生が短期から約1年間の留学を通じて、グローバル人材として求められる豊かな経験を積んでいます。



 **1,666人**

●海外留学者数※の推移

※派遣留学・学部SA・海外研修制度・HOP
・海外ボランティア・インターンシップの合計



認定海外留学制度 ~希望する大学への私費留学~

希望する海外の大学から受入れ許可を得て本学に申請をし、所属学部の審査を得て2~4年次の半期または約1年間私費留学する制度です。留学先大学で取得した単位は、帰国後に30~60単位を限度に法政大学の卒業所要単位として認定されます。法政大学と留学先の両方に学費を支払う必要がありますが、「開かれた法政21・認定海外留学奨学金」(30万円)、「後援会認定海外留学奨学金」(10万円)、「グローバルキャリア支援基金による海外留学支援奨励金」(25~50万円)等の返還不要の奨学金制度があります。また、本学協定校のボイシー州立大学やミネソタ州立大学マンケート校(アメリカ)、オーストラリア・カソリック大学(オーストラリア)での認定海外留学制度による私費留学制度も実施しています。



※上記奨学金は半期留学の場合、半額支給。

【過去10年の認定海外留学生の留学先国・地域】

- | | | |
|---|---|---|
|  アメリカ |  イギリス |  カナダ |
|  中国 |  フィリピン |  タイ |
|  デンマーク |  台湾 | |

派遣留学制度 ～協定校への交換留学～

全学部対象の留学制度で、3・4年次に世界各国の協定校に半期または約1年間留学する制度です。学内選考試験に合格した派遣留学生全員に返還不要の奨学金が支給されるほか、法政大学の学費を通常通り納入することで、派遣先大学の授業料は全額免除されます。派遣先大学では主に学部の授業を履修し、取得した単位は帰国後に30～60単位を限度に法政大学の卒業所要単位として認定されます。

●派遣留学奨学金（半期留学の場合は半額支給）

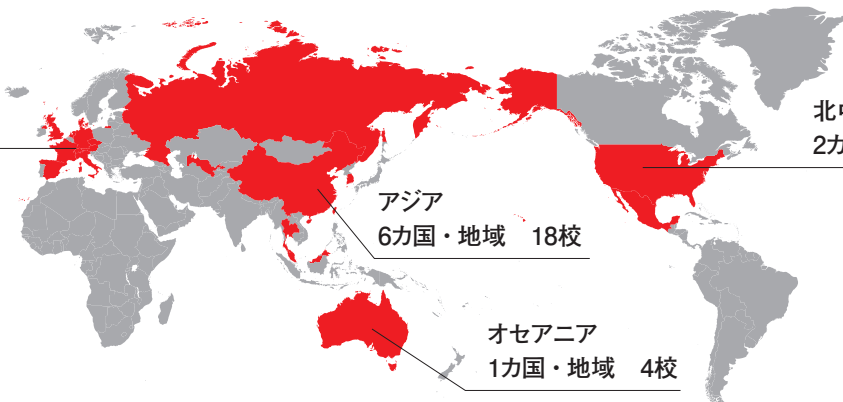
アメリカ、イギリス、オーストラリア、ドイツ、オーストリア、スイス、チェコ、オランダ、フランス、デンマーク、イタリア、ロシア、スペイン、韓国の協定校に留学する場合

合格者全員 **100** 万円

中国、台湾、タイ、マレーシア、ウズベキスタン、メキシコの協定校に留学する場合

合格者全員 **70** 万円

ヨーロッパ
11カ国・地域 26校



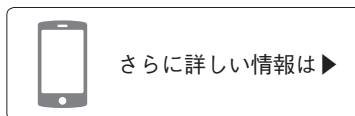
北中米
2カ国・地域 13校

アジア
6カ国・地域 18校

オセアニア
1カ国・地域 4校

派遣留学先大学
20カ国・地域
61大学・機関

※2019年2月末現在



http://www.global.hosei.ac.jp/programs/study_abroad/

●2018年度派遣留学生数

応募者数138人

※応募にはTOEFL iBT® 71以上、IELTS 6.0以上などの語学スコアが必要です。

86人

Voice

大学3年次に参加したSA留学で、海外の学生の考え方や意見に圧倒されたことをきっかけに、ゼミで学んでいた国際ビジネスをさらに学ぶべく派遣留学を決意しました。渡米したての頃は、ディスカッションやプレゼンテーションの多い授業に苦労したり、初心者ながら参加したアルティメットフリスビークラブでは、チームメイトとうまく交流できずに悩むことがありました。しかし粘り強く積極的に挑戦し続けることで、授業でアイデアを提案したり、クラブでチームに溶け込み試合にも出ることができました。卒業後はIT企業に就職が決まっており、世界のITインフラに携わりたいと思っています。国際ビジネスで活躍するための第一歩を、この派遣留学は与えてくれました。



鈴木 ゆりさん (写真前列右から2番目)

2017年度ボイシー州立大学 (アメリカ) 派遣留学生
経済学部 国際経済学科

Voice

大学院生として再びサンクトペテルブルク大学で勉強をしている自身の身を振り返り、いかに派遣留学の経験が今の自分に影響しているかを強く感じます。10ヵ月という期間で出来ることはとても限られていて、それに伴い語学や交友関係などの密度が濃くなるというのが派遣留学の全体的な印象でした。勉学の面ではロシア語試験の合格が留学生の目標となり、自身でレベルを設定しそれに励むことになります。現地で生活してる以上勉学と交友関係は常に直結していました。この2つの面を通じて語学の向上は勿論、将来ロシアと日本の関係を親密なものにする仕事に就く覚悟ができたのが派遣留学の大きな意味だと思っています。現在、同大学で石油工学を学んでいるのも派遣留学という大きなステップがあったおかげです。



土橋 佑斗さん (写真左から2番目)

2016年度サンクトペテルブルク国立大学 (ロシア) 派遣留学生
所属：サンクトペテルブルク国立大学修士課程 地球科学研究科 石油工学専攻 (2018年度文学部英文学科卒業生)

特徴的な海外留学・ インターンシッププログラム



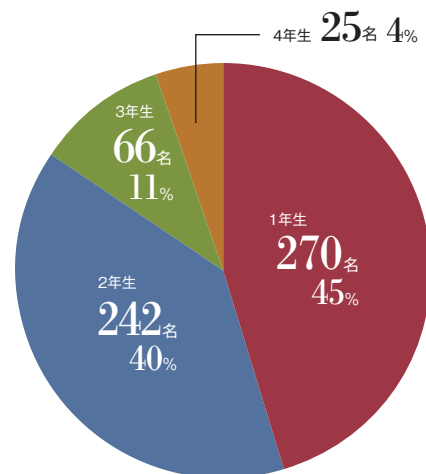
法政大学では派遣留学制度や認定海外留学制度のほかにも、
さまざまなプログラムがあります。

自分自身の目的やレベルにあった留学制度を利用し、
グローバルに活躍できる人材としてのステップアップを図ることができます。

短期語学研修制度

夏休みと春休みに、語学力向上のため、マレーシア・アメリカ・カナダ（英語）、中国・台湾（中国語）、韓国（朝鮮語）、オーストリア（ドイツ語・夏季のみ）、フランス（フランス語）の各協定大学で2～4週間程度実施する留学制度です。全学部の学生対象で、語学レベルや成績に関係なく応募が可能です。留学先では個人の語学力に応じたレベル別の授業を行っているため、初級者から上級者までを対象としており、初めて海外に行く方や将来長期留学を考えている方にも推奨しています。また、課外活動や文化体験を通じて留学先の社会や文化に触れることができるのも魅力です。学部によっては単位認定も可能です。

●過去3年間の学年別参加者数
※夏季・春季の合計



トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム

文部科学省および支援企業から返済不要の奨学金（月額6～16万円）や留学準備金（15～25万円）などのサポートを受けて、インターンシップやボランティアなどの実践活動を含む自分自身の留学計画を実行するプログラムです。法政大学もこのプログラムに応募・参加する学生のサポートを行っています。

過去のトビタテ! 留学JAPAN留学先/テーマ

- ・フランス、ルワンダ/難民問題を見つめる ～国際社会にできること～
- ・アメリカ/食料危機を解決する研究者となるために。
- ・マレーシア、ベトナム/「JAPANESE FOOD を WORLD FOOD に!」～日本食品の海外進出における「壁」を「ビジネスチャンス」に変える!～
- ・ベトナム/ベトナムの子供達と、音楽の楽しさを共有する!～リコーダーを通して～
- ・イラン/イラン・ペルシャ文化のスペシャリストになり、産業界から日本にイランパワーを呼び込む
- ・アルゼンチン/日本人と日系人のネットワークの構築を目指して～世界の同郷の仲間と一緒に次世代の日本を考える～



学部独自の留学・海外研修制度

文学部英文学科、経営学部、国際文化学部、人間環境学部、キャリアデザイン学部、GIS (グローバル教養学部)、経済学部、社会学部、理工学部、生命科学部において、学部独自のスタディ・アブロード (SA)・プログラムがカリキュラムに組み込まれています。

また、学部のカリキュラムに合わせたさまざまな海外研修も行っています。法学部国際政治学科のオックスフォード大学などで短期研修を行うHosei Oxford Programme (HOP) や、文学部哲学科のフランスとドイツの大学で合同ゼミを行う国際哲学特講、国際文化学部では東・東南アジアでの海外フィールドスクールを行っています。このほかにも、人間環境学部では海外での環境問題の見聞を広めることを目的とした海外フィールドスタディ、現代福祉学部では、デンマークなどの福祉先進国で行う海外研修制度、スポーツ健康学の知識を深めるスポーツ健康学部の海外課外研修、デザイン工学部システムデザイン学科のフィリピンで英語を学びながらシステムデザインについて学ぶことのできる海外派遣プログラムがあります。

国際ボランティア・インターンシッププログラム

さまざまな体験を通して、これまでとは違った観点から世界を見ることにより、グローバル人材に求められる能力や資質を身に付けるプログラムです。国際社会に貢献する活動をさまざまな国・地域からの参加者とともに「国際ボランティア」と、派遣先の企業やNGOなどで就業体験を行う「国際インターンシップ」の2種類があり、文化や言語、働き方の違いを学ぶことで、海外へチャレンジする学生を育てます。実施期間はプログラムにより異なりますが、夏季 (8~9月) および春季 (2~3月) 休暇中の2週間~4週間程度です。

2018年度 国際ボランティア／国際インターンシップ募集プログラム

- ・東南アジア各国・日本各地での国際ワークキャンプ
- ・メコン川流域圏での教育支援活動
- ・ベトナム現地企業での実務研修
- ・フィリピンでの農民支援プロジェクトにおける実務研修
- ・ルーマニアの公共・市民・民間セクターでの実務研修
- ・アメリカ・中国の大学での日本語・日本文化教育実務研修
- ・マレーシアでの大手日系書店による実務研修



Voice

活動の主な内容は、タイ米の種まき、稲抜き、田植え等の農業活動が中心でした。スコーン島での農作業は土を耕す作業以外は、全て手作業

で行われていたため、体力的には大変で、辛いと感じることも多々ありましたが、ワークキャンプに参加した他のメンバーや島民の支えもあり、無事にやり遂げることができました。2週間という短い期間ではあったものの、活動を通じて、メンバーと言葉の壁を越えた一体感を得ることができました。今回のプログラムへの参加を通じて、国を超えて、積極的に人と関わることの大切さと楽しさを学ぶことができました。皆さんも、是非それを体験してみてください。



高井 智文さん

2018年度夏季国際ボランティア (NICE国際ワークキャンプ・タイ) 参加
経営学部 市場経営学科 2年生 (参加当時)

海外交流協定大学

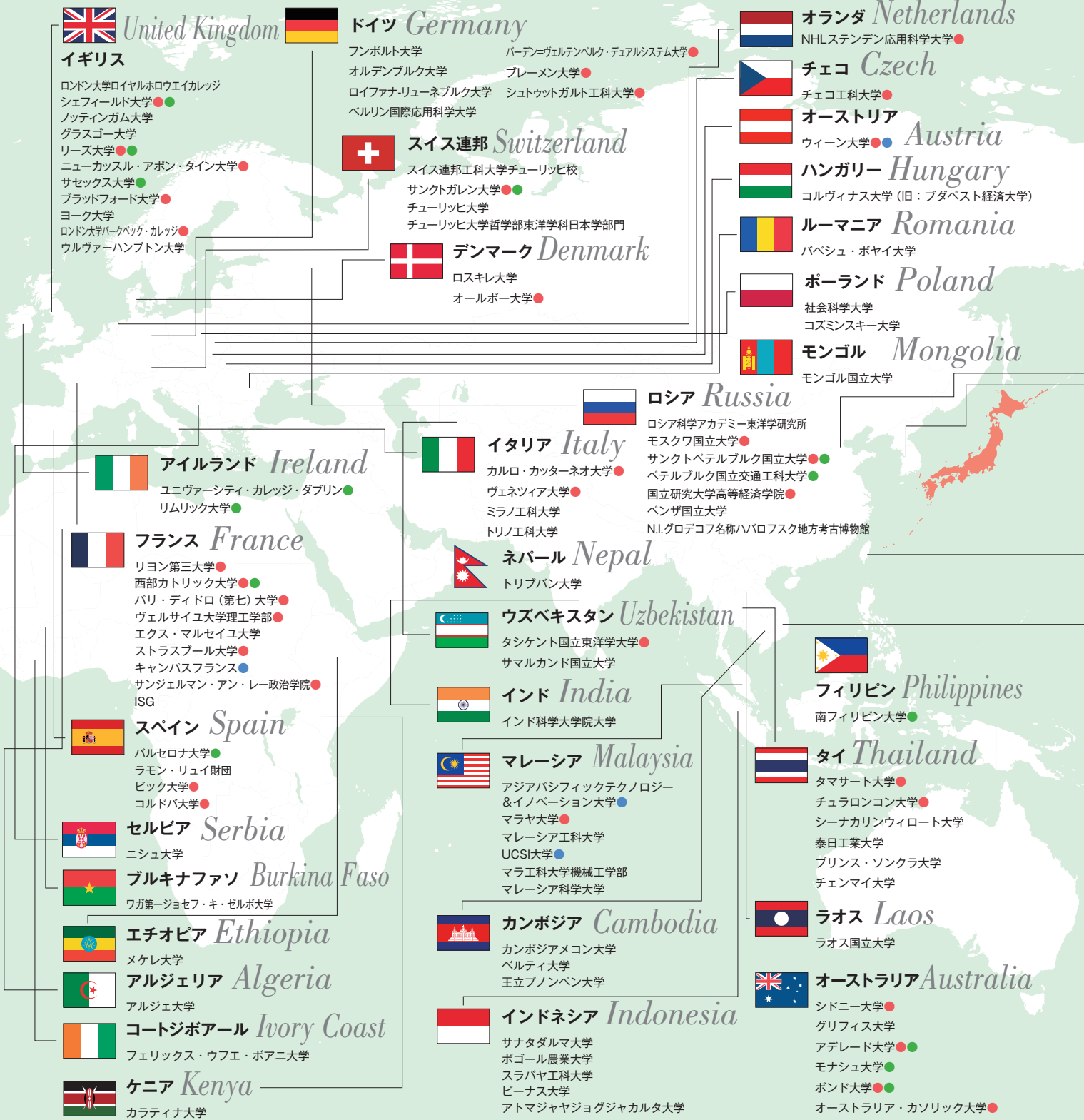
● 派遣留学

● 短期語学研修

● SA*

*学部により行き先が異なります。

現在、法政大学では世界42カ国・地域において、244大学・機関（2019年2月末現在）との間で
 学術一般協定、学生交換協定などを締結しています。法政大学と世界を結ぶグローバルネットワークは今後もさらに広がっていきます。





中国 *China*

北京大学
北京大学政府管理学院
上海外国語大学 ●●
中国国家外国專家局
上海交通大学
北京師範大学 ●
北京外国語大学
北京日本学研究中心
山東財経大学
大連民族学院
武漢大学

四川外国語大学
中央民族大学 ●
遼寧大学国際関係学院
福州大学
大連外国語大学
首都師範大学 ●
北京科技大学
重慶師範大学
外交学院
清華大学国際コミュニケーションセンター
西南交通大学

龍門石窟研究院
天津外国語大学
北京語言大学 ●
対外経済貿易大学
福建師範大学
大連大学
東北大学秦皇島分校
山東大学 ●
済南大学
山東協和学院
西南民族大学

華僑大学
少林寺
復旦大学文物與博物館学系
西北工業大学
華南理工大学
模範のソフトウェア学院連盟
西安交通大学
北京交通大学
吉林大学軟件学院
中国科学技術大学
西安電子科技大学

厦門大学
華中科技大学
中南大学軟件学院
東北大学
大連理工大学
東南大学
華東師範大学
天津大学
西安科技大学



韓国 *Korea*

延世大学 ●
延世大学地域発展研究所
延世大学政経大学院
徳成女子大学 ●
聖公会大学社会史研究所
嘉泉大学
ソウル大学経営学部
ソウル大学日本研究所
高麗大学
梨花女子大学 ●

仁荷大学産業経済研究所
アジア気候変動教育センター
ソウル市立大学 ●●
誠信女子大学
韓国外国語大学 ●
中央大学
建国大学 ●●
京畿大学
釜山外国語大学
湖西大学



カナダ *Canada*

プリティッシュ・コロンビア大学
アルバータ大学 ●
トロント大学 ●
ブロック大学 ●
ヨーク大学 ●
トレント大学 ●
プリンスエドワードアイランド大学 ●
ヴィクトリア大学 ●



ベトナム *Vietnam*

ベトナム国家大学ホーチミン工科大学
ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学
FPT大学
ベトナム国家大学ハノイ外国語大学
ダナン大学
フエ科学大学
貿易大学
ベトナム国家大学ハノイ経済経営大学
ホーチミン市建築大学
ホーチミン市工業大学 (HUTECH)
ホーチミン市経済大学
ベトナム国家大学ホーチミン市科学大学
ベトナム国家大学ハノイ工科大学
ハノイ工科大学
ハノイ大学
ベトナム国家大学ホーチミン市情報技術大学
カントー大学
フンイエン技術師範大学
ハイフォン大学
ホーチミン市工業大学 (IUH)
日越大学



アメリカ合衆国 *U.S.A.*

トルーマン州立大学 ●
ベイラー大学 ●
カリフォルニア大学デイヴィス校 ●●
ミシガン州立大学 ●
ボストン大学 ●
カリフォルニア州立大学イーストベイ校 ●
カリフォルニア大学サンディエゴ校 ●
ネバダ大学リノ校 ●●
ボイシー州立大学 ●
サンホセ州立大学 ●
フォントボン大学 ●
サンディエゴ州立大学 ●



バハマ *Bahamas*

バハマ大学

南カリフォルニア建築大学
ガステイバス・アドルフス大学 ●
ウェストチェスター大学 ●
ウィスコンシン大学ミルウォーキー校 ●
ミネソタ州立大学マンケート校 ●
メタイル大学
ポートランド州立大学 ●
ウェストフィールド州立大学 ●
ユタ大学
ジョージ・メイソン大学 ●
ニュー・スクール大学
カンザス大学



台湾 *Taiwan*

國立中山大学 ●
淡江大学 ●●
文藻外語大学
中原大学
國立虎尾科技大学
國立雲林科技大学
國立高雄師範大学
實踐大学
國立台湾師範大学 ●
國立政治大学 ●
元智大学 ●
輔仁大学
國立高雄大学
国立暨南国際大学
中信金融管理学院



メキシコ *Mexico*

アナウアク大学
グアダハラ大学 ●



アルゼンチン *Argentina*

国立ラプラタ大学



ニュージーランド *New Zealand*

マッセイ大学 ●
オークランド大学 ●
オタゴ・ポリテクニク



グローバル化に対応した仕組みづくり

大学に求められるグローバル化への対応は、ますます多様化しています。

多様な人材を受け入れ、世界のどこでも活躍できる人材を育成する教育環境として、英語だけで学位を取得できる課程を提供しています。

また、国内外の機関と協力できるよう、大学の体制構築と仕組みづくりを推進しています。

英語による学位取得のための課程



GIS (グローバル教養学部)

Faculty of Global and Interdisciplinary Studies

少人数教育環境のもと、新しい時代のリベラル・アーツのプログラムを有する学部です。地球規模で刻々と変化する社会事象に対応できる、自立的で人間力豊かな人材の育成を目指します。



GBP (経営学部)

Global Business Program

「アジアの世紀」と言われる21世紀のグローバルなビジネス社会で活躍し、牽引できる人材を育成するため、英語で行う授業とともに日本企業のグローバルビジネスを実体験できる科目群を設置しています。



SCOPE (人間環境学部)

Sustainability Co-creation Programme

「持続可能な社会」とはどのようなものか、どのようにそこにたどりつくのか、という、あらかじめ定められた答えのない問いに取り組むために必要な力を涵養することを目的とします。



IGESS

(グローバル経済学・社会科学インスティテュート)

Institute for Global Economics and Social Sciences

経済学・社会科学の専門知識を応用し、課題解決に取り組み、サステナブルな社会を構築できるような能力の涵養を目指します。多摩キャンパスの学部横断型インスティテュートです。



IIST

(総合理工学インスティテュート)

Institute of Integrated Science and Technology

大学院理工学研究科と情報科学研究科の連携により、サステナブルなグローバル社会を支える総合理工学を英語で学ぶ横断型大学院プログラムを設置しています。



Global MBA

(経営大学院イノベーション・マネジメント研究科)

Global MBA Program

実務経験3年以上の方を対象に、英語で日本のビジネス慣習、日本企業、日本の経営スタイルを学び、平日夜間と土曜の通学1.5年で修了できるMBAプログラムを提供しています。



グローバル化に対応した入試制度

語学力や留学経験等が活かせる入試の実施

- **英語外部試験利用入試（一般入試）**
TOEFL®などの英語外部試験で指定された基準を満たした受験生を対象とした入試制度。
- **英語外部試験利用自己推薦特別入試**
経済学部で実施している、英語外部試験で指定された基準を満たした受験生を対象とした自己推薦特別入試。

- **外国人留学生入試**
外国人留学生を対象に、書類選考と面接試験を実施する入試（前期日程）、渡日前でも受験できる書類選考のみによる入試（後期日程）、日本語学校・海外高校を対象とした指定校推薦入試を実施。
- **グローバル体験公募推薦入試**
海外高校への留学経験者を対象にした学校長推薦による入試制度。
- **国際バカロレア利用自己推薦入試**
国際バカロレア資格取得者を対象とした入試制度。

グローバル・ポイント制度

プログラム参加経験の数値化

海外留学や語学研修など大学が指定するプログラムへの参加についてポイントを付与します。一定のポイントを獲得した学生には、本学スーパーグローバル大学創成支援事業のロールモデルとして表彰します。

法政ミーティング

卒業生のグローバル・ネットワークの構築

海外在住の卒業生の集いを開催しています。これまでにロンドン、パリ、ニューヨーク等の都市で実施しました。世界各地で活躍する卒業生と大学のつながりを推進していきます。

2018年度からの新しい授業時間割と学年暦

多彩な授業・留学等を可能にする教学改革

教学改革の一環として、単位制度に沿った授業時間数の確保とグローバル化に対応した柔軟な授業設計ができるように、2018年度から1 Semester 100分×14回の授業時間割と柔軟な授業展開を可能とする新学年暦を導入しました。

学生寮（留学生混住寮）の整備

留学生のための寮の拡充と学生間交流

本学には専用寮、優先寮、推薦寮と様々なタイプの学生寮があります。留学生が入居している混住型の寮では日本人学生との交流も図れ、専用寮ではRA（レジデント・アシスタント）が生活のサポートやイベントの企画をしています。2019年の春より新たな専用寮が駒込にオープンしました。

教職員の国際通用性の向上

教員の授業運用力・職員の語学力強化

授業を英語で行う教員向けに、ネイティブスピーカーによるサポートの実施、職員向けには、国際業務に対応できるよう英語講座や海外研修を実施しています。

海外事務所の開設

学生交流・学術交流の促進

留学生受入れの増加、学術交流の促進、卒業生との連携強化等の効果を図ることを目的とし、中国、台湾、ベトナムに海外事務所を展開しています。



グローバル化の歩み

History

法政大学は、これまで130年を超える歴史において、自由の尊重、進取の気象という伝統を育み、「自由と進歩」という校風を形成してきました。その精神を受け継ぎながら、学生交流や学術交流に積極的に取り組み、グローバル化を推進してきました。法政大学は、これからも新たな改革に挑み、地球社会のさまざまな課題解決に寄与する大学を実現していきます。

1880年代

ボアソナード博士の法学校

政府の法律顧問としてフランスより来日したボアソナード博士は1883年、のちの法政大学となる東京法学校の教頭に就任。以後10年間、無報酬で門弟の教育に情熱を注ぎ、本学の基礎固めに重要な役割を果たしました。

1931年

「青年日本号」の訪欧飛行

1931年5月29日、東京飛行場（現・羽田空港）からイタリア・ローマをめざして飛び立った複葉プロペラ機「青年日本号」。連盟の代表校として法政大学航空研究会から操縦士を出すこととなり、本学校歌の一節「青年日本の代表者」から命名されました。初の学生による訪欧飛行とあって話題を呼び、世紀の快挙と称賛される大飛行を成し遂げました。

1975年

法政大学 ロンドン分室を設置

イギリスにおける本学の教育研究拠点を整備。2007年9月には法政大学ヨーロッパ研究センターとして改組。

1979年

奨学金留学制度の開始

法政大学創立100周年を記念して、財界、学生保護者、校友、教職員などによる寄付金の一部から「法政大学国際交流基金」を創設。本学の学生を海外へ送り出す奨学金留学制度（現・派遣留学制度）が発足しました。これは当時、他大学に類を見ない本学独自の制度で、海外の大学・研究機関との協定締結、本学学生の海外派遣、海外大学からの交換留学生受入れなどに早くから取り組んでいました。

1999年

国際文化学部設置とスタディ・アブロード・プログラムの開始

市ヶ谷キャンパスに国際文化学部を開設。国際社会人の育成をめざし、学部生全員が2年次に世界の7言語圏に広がる協定大学のいずれかに留学する必修留学制度スタディ・アブロード(SA)・プログラムを導入。

2007年

法政大学 ヨーロッパ研究センター（チューリッヒ）の開所

チューリッヒにヨーロッパにおける海外研究拠点を拡充。

2000～

1880～

1903年

梅謙次郎博士の初代総理就任

専門学校令により学校名が法政大学となり、梅謙次郎博士が初代総理（現在の総長）に就任。博士は、中国人留学生を対象とした「法政速成科」や英・独・仏の語学教育のための「語学科」を開設するなど、世界的視野で多角的な教育改革を推進しました。この「開かれた教育」の精神は、今日の本学に受け継がれています。

1900～

1904年

清国留学生法政速成科

清国留学生法政速成科を開設。法政大学および法政速成科には、辛亥革命の指導者や中華民国の中心的存在となった人々が、留学生として多く在学していました。

1977年

国際交流センターの新設

国際交流に関する調査や資料の収集、交換、受入れ外国人研究者への協力、外国人留学生に対する学習上・生活上の援助などの業務を全面的に担当する専門部局として、国際交流センターを設置しました。

1997年

交換留学生受入れプログラムの開設

これまで交流を深めてきた海外の協定大学から広く交換留学生を受け入れるため、英語を教育言語としたESOP（交換留学生受入れプログラム）を開設。ここでは日本語習得以外の全ての授業が英語で行われ、日本文学、社会、政治、経済などのテーマを中心に、米国や英国のようにゼミ形式中心の授業を行っています。英語による授業は、交換留学生だけではなく本学学生も受講でき、日本人学生が海外に留学する準備の役割も果たしています。

2008年

グローバル教養学部の設置と全科目英語化の実施

市ヶ谷キャンパスにGIS（グローバル教養学部）を開設。学問領域の枠組みにとらわれず、高い英語運用能力を身に付けた人材の育成をめざし、原則として全ての授業を英語で行うカリキュラムを実施。

2000年

法政大学 アメリカ研究所の開所

カリフォルニア州にアメリカにおける海外研究拠点を整備。



ボアソナード博士



梅謙次郎博士



ESOP（交換留学生受入れプログラム）

of Globalizing Hosei

2012年

グローバル人材開発センターの設置

グローバル人材育成推進事業を推進するための組織として、グローバル人材開発センターを設置。

文部科学省

「グローバル人材育成推進事業」に採択

文部科学省は、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図るため、教育のグローバル化を推進する取り組みを行う大学に対して、重点的に財政支援する補助金事業を実施。本学はこれに採択され、グローバル化への取り組みが多様化。本事業は、現在は「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」に組み替えられています。

日本台湾教育センターが市ヶ谷キャンパスに開所

法政大学北京事務所の開所

2014年

グローバル戦略本部とグローバル教育センターの設置

総長を本部長とするグローバル戦略本部を設置し、それまでの国際交流センターとグローバル人材開発センターを改組したグローバル教育センターを開設。日本社会のグローバル化を牽引し、サステナブル社会の実現をめざすため、全学で取り組める運営体制を組織しました。

文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」に採択

文部科学省は、日本の高等教育の国際競争力の向上を目的に、海外の卓越した大学との連携や大学改革により徹底した国際化を進めるグローバル大学に対し、制度改革と組み合わせ重点支援を行う補助金事業を実施。本学はこれに採択され、「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」と併せて、グローバル化への取り組みがさらに拡充しました。

法政大学グローバルポリシーの制定

グローバルポリシーを制定し、「世界に開かれた大学」、「市民に開かれた大学」、「多様な知に開かれた大学」を基本理念に据え、2023年までの10年間をかけて「持続可能で平和な地球社会の構築に貢献する大学」をめざしています。

2018年

グローバル化に対応した新しい授業時間割と学年暦の導入

1セメスター100分×14回の授業時間割と柔軟な授業展開を可能とする新学年暦を導入します。

英語学位プログラム IGESSの設置

2013年

法政大学台湾事務所の開所

本学との協定校である淡江大学(台湾)の台北キャンパスに海外窓口を拡充。

ERP(英語強化プログラム)の開始とGラウンジの開設

キャンパスや学年に関係なく、日常的にネイティブスピーカーから学べる英語学習環境を整備。

国際ボランティア・インターンシップの開始

留学制度に加え、ボランティアやインターンシップなどの海外プログラムを多様化。

2015年

法政大学ベトナム・ホーチミン事務所の開所

英語学位プログラム Global MBAの設置

2017年

日本語教育プログラムの開始

主に交換留学生を対象としていた日本語科目を発展させ、留学生を対象にした新たな日本語教育のプログラムと体制を整備。

2016年

法政大学ベトナム・ハノイ事務所の開所

法政大学ダイバーシティ宣言の制定

大学の直面する課題がより複雑化する中で、大学は多様性と柔軟性を有し、創造的で革新的な場となる必要があります。法政大学がこれまで以上に積極的に環境整備を進め、より多様な学生・教職員を受け入れ、それぞれの個性的な成長と活躍の機会を保障できるよう、ダイバーシティ推進を宣言しました。

サステナブル社会の科目群の開始

グローバル・オープン科目群の開始

グローバル化に対応した入試制度改革

英語学位プログラム SCOPE・GBP・IISTの設置



国際文化学部 スタディ・アブロード(SA)・プログラム



GIS(グローバル教養学部)



2018年度秋季入学式



法政大学 グローバル教育センター事務部

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
TEL: 03-3264-4088 E-mail: globaledu@hosei.ac.jp
<http://www.global.hosei.ac.jp/>

2019年3月発行

